

職人魂をデザインする大判プリンターに HP Latex 700W を選択



ザボ株式会社 内観



HP Latex 700W プリンター



ザボ株式会社 外観

札幌を拠点とするザボ株式会社は「技」とも呼べる優れた技術力で評価の高い企業だ。その最前線で活躍する大判プリンターに HP Latex 700W が選ばれているという。どのように活用しているのか、ザボ株式会社 取締役 宇南山氏に伺ってきたので紹介しよう。

zabo
Design Works

ザボ株式会社

本社 〒065-0008 札幌市東区北8条東16丁目1-5
TEL/011-748-6056

東京支店 〒111-0051 東京都台東区蔵前2-4-3 橋本ビル1F
TEL/03-5829-8415

Web サイト : <http://www.zabo-inc.jp>

長年使い続けてきた HP Latex シリーズの後継機種

代表取締役社長の折居 健二氏が1998年に開業した個人事業を発端として事業を拡大。様々な種類の顔料・インクを使った印刷を通じ、職人として幅広い作品とノウハウで多くの顧客のニーズを満たしてきたザボ株式会社。社名の由来となった「坐忘」を信条とし、想いを込めて創り上げる成果物は、企業として成長した今でも品質に揺らぎはなく、完成度の高さから多くのユーザーの心を揺さぶり続けている。

「代表がもともと職人なので、その魂がスタッフにも根付いている会社なのかもしれません」と笑顔で語る宇南山氏。ザボには様々なサービスがあるが、いずれもかつては職人らの手作業で成しえた作業になる。近年になり、機械化された部分はあるが、伝統や精神はこの会社に根付いているのだ。

「そのような中、弊社でも主力の大判プリンターとして歴代の HP Latex プリンターを使ってきました。最近、それまで使っていた1世代前の HP Latex 360 が古くなったため、後継機として HP Latex 700W を導入することにしたのです」同社のサービスを支える一部として活躍してきた HP Latex プリンターが役目を終え、最新モデルに置き換わったのだ。

「後継機という意味合いもありますが、最新機種でもあるわけなので機能的な向上にも期待していました。特に白インクが扱えるというのは仕事の幅が広がるのではないかと楽しみにしていた部分です」と、宇南山氏は導入前の気持ちを振り返る。こうして2021年7月、ザボの札幌本社並びに東京支社に HP Latex 700W が導入されることになった。

白インクによって付加価値の高い作品創りが可能に

ザボで導入した HP Latex 700W の主な使われ方の代表は大判ポスターやサインージ関連なのだという。「定番ですが、塩ビ系の素材に印刷することが多いですね。シート貼りをしてラミネートをかけるといったような使い方です」と話し、このほかの案件

においても、問題なく HP Latex 700W は稼働を続けているという。

白インクに対応したことに対して期待をしていた宇南山氏。導入後にはどのような感触を得ているのだろう。「オペレーターのスタッフらにも聞きましたが、狙った通りの白がきちんと出ているということでした。例えば、これまでは透明な素材に印刷をする際には白のカッティングシートを貼ってから印刷するなどの手間がありましたが、HP Latex 700W になってからは白を印刷した上に絵を乗せるような使い方ができるので、自然な仕上がりが得られるのと同時に作業の手間が大幅に削減でき、また付加価値の高いサービスにつながっていると評価されていました」白インク印刷ができることで、ユーザーに対してより付加価値を持ったサービスが提供できるようになったのだ。

また、HP Latex インクについては他にも高い評価を得ている部分があるのだという。「速乾性ですね。印刷した後の乾燥時間が無いというのは、仕上がりの確認がスピーディーにできるという面もありますし、万が一やり直しになってもロスタイムを減らすこともできます。そういった意味ではラテックスを使った印刷効率は“爆速した”といってもよいほどです。様々な面でメリットがあるので、とても便利だと思います」と語る。速乾性であることによって扱いやすく、インクの匂いもしないため、印刷機の近くにいる人にとっては快適な仕事環境といえる。

管理ツール「HP Print OS」も大活躍

導入後に感じたメリットは他にもあるようで「タッチパネル（スマートフロントパネル）が大きく、操作がシンプルに行える点ですね。操作ミスが減るという意味もありますが、ベテランが新入社員に教えるようなときに、すごくやりやすいと評判になっています。数名でパネルを見ても十分内容が見えますから、オペレーションをする側にとってもメリットが大きいようです」

また、ザボではスマートフォンでも使えるプリンター管理ソフト「HP Print OS」も活用している。「東京支社と札幌本社でメディアプロファイルを共有して、同じ品質の印刷をおこなうといった連携に使っています。印刷管理という面ではもちろんですが、拠点間連携を強化するという意味でもとても役立っています」と宇南山氏は話す。

東京支社では HP Latex 700W を使い、T シャツやユニフォームなどの柔らかい素材へのラバー転写も得意としているが、札幌支社でも同様な案件の発注をいただくこともあるようだ。「お客様に対しての見せ方や表現など、拠点間でメディアプロファイルを共有することで、離れた場所でも同じ印刷品質の納品物を制作できます。また、作業効率や納期も大幅に短縮できるため、大変助かっています」拠点が変わっても同じ印刷クオリティが担保できるのは大きなメリットと言える。

チャレンジを続けるザボになくてはならない存在に

「これからは様々な素材へのプリントに挑戦したいですね。もちろん、HP Latex 700W が壊れない範囲ですが（笑）」と笑顔で語る宇南山氏。元気に稼働を続けている HP Latex 700W も、チャレンジを続けてきたザボならではの活用のされかたを望んでいるに違いない。

「実は今、ザボでは宿泊業にもチャレンジをしている最中なのです。北海道を中心に、ホテルというよりもヴィラという形の宿泊施設ですが、将来、HP Latex 700W を使って思い通りの壁紙を印刷しようかという話も出ています。実は以前、同様の仕事を昔の HP Latex プリンターでやったことがあります。古い洋館の誰も新品当時の壁紙をみてない中で、その風合いをうまく表現していく大変な仕事でした。そういった難易度の高い仕事は楽しいですし、期待に応えてくれる HP Latex プリンターにも感謝しましたね。HP Latex プリンターは、これからもザボにとってなくてはならない存在なのだと思います。」と宇南山氏は最後に語ってくれた。HP はこれからもザボの進化を支えていく。

